

# 3年間の積み重ねが感謝の形に 車椅子1台を寄付しました ～アルミ缶・プルタブ回収の収益で～



## 校報 ふたついの

◇みんな仲良し 夢ある子ども  
ふたついの大好き、ふれ合いをえん子  
たのしく学び、考えを子  
つよい心で、やさしい子  
いつもすこやか、元気な子

発行責任者  
二ツ井小学校  
校長 安部芳幸

保護者の皆様、  
ご協力ありがとうございました

3月1日(水)、社会福祉法人二ツ井ふくし会特別養護老人ホーム「よねしろ」施設長の工藤美佳子さんと職員津谷剛史さん(3年琉空さん父)においでいただき、校長室で車椅子贈呈式を行いました。

これは、環境委員会で行っているアルミ缶・プルタブ回収で得た収益を、地域貢献のために活用したもので、ここ3年間の収益で車椅子を購入しました。

当日は、環境委員長安井晴さん(6年1組)が児童代表のあいさつをしました。その後、晴さんと環境委員長長の山田樹仁也さん(6年2組)が、車椅子を贈呈しました。

工藤美佳子施設長さんのあいさつでは、「施設利用者62人中50人が車椅子を使っている。今回寄付していただき、とてもありがたい」と話されました。また津谷剛史さんも、「いただいた車椅子は有効に活用したい」と話されました。

さらに、工藤美佳子施設長さんから、「これまでコロナ禍で、なかなか交流の機会をもてないでいたが、子どもと交流することで、施設利用者の方々が笑顔になる。これからも機会をつくって交流していきたい」と、たいへんうれしいお言葉をいただきました。

二ツ井の子どもたちが、地域に感謝の気持ちを伝える絶好の機会になりますので、前向きに取り組んでいきたいと考えています。



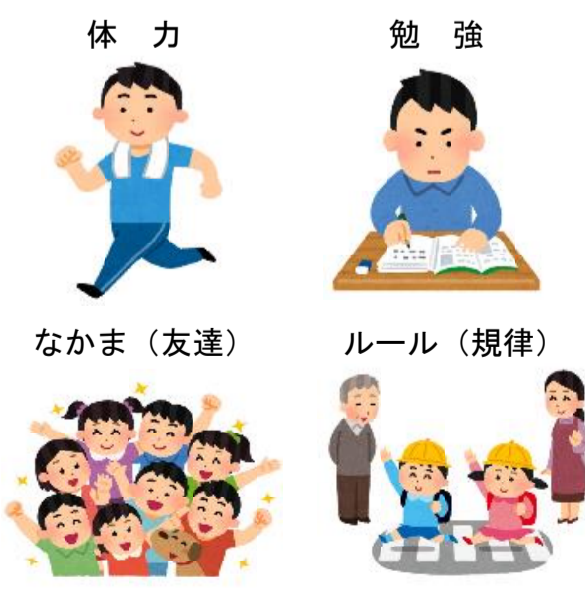
## 夢や目標を達成させるためには

今年度もあとわずかです。今年度もあともうすぐで終了となります。新年度に向けて、新たな夢や目標を設定する時期です。そこで、3月の全校集会でこんなお話をしました。

勇者には、「ラスボスを倒す」という夢・目標があります。でも、勇者一人ではとうとう倒せる相手ではありません。みんなが必要アイテムを考えましょう。



それでは、みなさんの夢や目標をかなえるためのアイテムは何でしょうか。



「なぜ勉強しなきゃいけないの?」という人がいますが、勉強は自分の夢や目標をかなえるための一つのアイテムになると思います。

夢や目標をかなえるということ、簡単なことではありません。でも、達成させるためには、たくさんのお話を聞いて、様々なアイディアを思いつくことが重要です。小・中学校はそういう時期ではないでしょうか。この先の夢や目標を達成させることができるよう、何事にも粘り強く取り組んでほしいものです。

## 卒業のムードが高まってきました

今週から卒業式練習が始まり、校内は卒業のムードが徐々に高まってきました。

今年の卒業式は、昨年同様、保護者、全校児童でお祝いすることになっています。2月に入ってから、朝の会

で卒業式の歌を歌っています。第一回目の卒業式練習では、とてもよい歌声が響いて気持ちよかったです。

全校で6年生の卒業を心からお祝いできるように、準備を進めていきます。

## あともがき

最近の暖かさで、雪解けが進んでいます。道路の雪もなくなり、車はスピードを上げています。登下校時の交通安全には十分に気をつけるよう、おうちでもお話ください。よろしくお祈りします。